

八丈島文化協会 会報 第12号

八丈町三根 4 8 6 9 - 1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

2016年5月30日発行

八丈島文化フェスティバル開催

「第27回八丈島文化フェスティバル」が1月24日、八丈町多目的ホール「おじゃれ」と町民ギャラリーで開かれ、約1000人の方にご来場いただきました。

舞台部門には、協会加盟の11団体と一般公募の6団体、あわせて17団体が出演。3団体が初出演でした。どの団体も日頃の成果を十分に発揮し、魅力的で見ごたえのあるステージでした。エンディングでは、テーマ曲「風の歌」を、バンドとサックスの演奏で出演者とスタッフ、そして観客が共に歌い、客席とステージが一体化した文フェスらしい最高のラストとなりました。

18日からスタートした展示部門には、5人が絵画やクラフト、ガラス細工などを出展。思わず見入ってしまうような力作ぞろいでした。布絵本・布遊具のブースには体験コーナーも設置され、親子連れなどが楽しんでいました。

今年も、多くの方々のご支援とご協力のおかげで、フェスを無事、終了することができました。

また、当日会場に設置した支援金箱には多数の方のご厚意をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

(第27回八丈島文化フェスティバル実行委員会事務局長 山下久美子)

(出演団体) 八丈島民謡保存会(よされ会)、コウリマナニエ、
三線愛好会「美ら島」、Gold Breath、ちょんこめ作業所、
無名劇団(仮 folklorick、太極拳練習会、M-isle Ballet、
リコーダーアンサンブル、日本民謡朝元会、檜之扇会、
フラメンコサークル、Heat up、八丈太鼓月曜会、Mew-air、
八丈島soka栄光バンド、八丈混声合唱団。

(出展者) 村田乃撫子、長山雅世、内山美津子、木下恵美、松本恭子(敬称略)
八丈の布絵本 結ゆい

(舞台部門の写真は2頁・4頁)



↑ 八丈島民謡保存会(よされ会)



↑ 三線愛好会「美ら海」



↑ ちよんこめ作業所



↑ 太極拳練習会



↑ 日本民謡朝元会



↑ 八丈太鼓月囃会

Mew-air



↑ コウリマナニエ



↑ Gold Breath



↑ 無名劇団(仮 folklorick



↑ 八丈リコーダーアンサンブル



↑ 檜之扇会



↑ フラメンコサークル



↑ 八丈混声合唱団



↑ 八丈島soka栄光バンド

加盟団体活動記録

(2016年1月～5月)



※協会で把握しているもののみを掲載しています。

未掲載の情報がありましたらお知らせ下さい。

★八丈実記を読む会

歴史セミナー 2月6・13・20・27、3月5日 (全5回) 商工会研修室ほか

★NPOあびの実

子ども招待公演「チィキィ*パークウ・ぷちっとサーカスPoco a Poco」2月20日 三根小体育館

野あそび隊冒険ハイク 4月16日 プラザ公園集合解散

第21回子どもまつり「春の防衛道路を歩こう」5月5日 旧町役場スタートゴール

第87回公演「ジンマサフスキーのサイレント・コメディーマジック」5月21日 三根小体育館

★檜之扇会

第14回日舞踊会 4月24日 多目的ホール「おじゃれ」

★之津帆の会

をどり第二十回 之津帆の会 5月22日 多目的ホール「おじゃれ」



6月～9月のイベント予定

(協会主催・後援・加盟団体主催等)

※協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しました。

詳細は、協会ホームページおよび「Faxメール通信」をご参照下さい。

6月

4日(土) 自然っ子クラブ 発足式&ハイキング

4日(土)～7日(火) 小原流八丈支部 みんなの花展 町民ギャラリー

19日(日) 八丈檜会 日本舞踊発表会

7月

22日(金)～24日(土) 八丈島夏まつり 加盟団体ステージ出演予定

8月

20日(土) CHAMPION SELECTOR spin out in 八丈島

26日(金)、27日(土) 八丈島JAZZフェスティバル2016

9月

10日(土)、11日(日) 第71回八丈島民大学講座

18日(日) 第4回八丈島芸能文化祭



文協つづいへ南風Ⅻ

◆初夏を迎え島の自慢も人々の生活も躍動感いっぱい季節となった。私ごとだが、島の第一歩は36年前の5月1日だった。

大きな鯉のほりがいくつも目に入り、メーソーのデモ行進をやっていた。◆島生活が始まって青年団の巡回演劇があったり、船祝い、疍まつりなど地域の行事が目じろ押しで、都合とは異なった文化的地域の賑やかさを活性を感じた。島の恵みの満喫感が幸せだった。◆これら島らしさが、年を経ることに薄くなっていくようでも寂しく悔しい。この初夏、私の目には勇壮に泳ぐ鯉のほりについに出合わなかった。◆さて、今回のこうしは熊本地震に触れないわけにいかない。未曾有と言われた東日本大震災からたったの5年、またも未曾有の大地震が続発した。◆地震大国日本

の面目躍如なご冗談にも言えない。◆内陸直下型地震というのだ。東野から鹿児島まで1千kmもの大断層があるそうだが、もし隣の地下に地震を起こすだけのエネルギーをためていれば、どこでも起こる可能性がある。研究者は言う。「わが地域は平気」ではない。日頃の準備対策は必須となった。◆早く地震の群発がおさまることを願いながら、亡くなられた方の冥福はせごより、一瞬にして家族や財産を失った多くの皆さんのためのお見舞いをしたい。ご心から思う。◆さて、本協会は5年目の総会を迎えた。島の皆さんの畑の野菜も深緑になって目の保養にさえなる。協会も新鮮な決意をもって1年間頑張ります。

(文) 内山江華子



M-isle Ballet



Heat up



エンディング